

平成28年2月10日開会
平成28年第1回東松島市議会定例会

会派代表質問通告書

東松島市議会

氏名	件名	要旨
<p>第1位</p> <p>清新会</p> <p>代表</p> <p>阿部勝徳</p>	<p>1. 所信について伺う</p>	<p>東日本大震災からもうすぐ丸5年を迎えようとしている。市当局はじめ関係機関の大変な努力により、最終的な移転団地の完成が目前に迫るなど、復興事業が着実に進んでいることは被災された皆様のみならず、全市民の喜びとするところである。平成28年度、市政執行の所信においては、昨年同様に復興の加速化はもちろんのこと、さらに一步前進し、震災そして復興をチャレンジの機会と捉え新たな東松島市を創造していく覚悟と次世代へ引き継ぐ責務を語られていますが、是非とも市民が手を携えてさらに住みよい東松島市をつくっていただければと思う。以下について伺う。</p> <p>(1) 復興について</p> <p>① 住居などインフラの復興は進んでいるものの「心の復興」が課題とされているが、解決に向けた取り組みについて。</p> <p>② 復興事業の推進により丘陵地において広範囲で土砂の採取が進んでいる。採取後は植林や採草地などにより緑化するとされているが、その他の活用についても考えていくべきと思うがいかがが。</p> <p>(2) 自治協働の推進について</p> <p>本年度は、自治会制度の平成29年度完全移行に向けた重要な年度と思うが、移行に向けた取り組みについて。</p> <p>(3) 産業の振興について</p> <p>① 1次産業は生産基盤の復旧・復興がほぼ終了し、次第に震災前の生産量を確保しつつあるとされるが、国の被災農家支援は大規模法人への支援にとどまり、個人農家へはなく不公平感が否めない。その支援について国、県に対し強く要望すべきと思うがいかがが。</p> <p>② 観光について、海水浴場の再開はいつ頃予定として</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p data-bbox="177 315 276 353"><u>第1位</u></p> <p data-bbox="209 412 244 546">清 新 会</p> <p data-bbox="209 636 244 712">代 表</p> <p data-bbox="209 797 244 1070">阿 部 勝 徳</p>		<p data-bbox="608 315 722 353">いるか。</p> <p data-bbox="580 416 919 454">(4) 交流事業について 更別村、東根市、東松山市、デンマーク・ロラン市、インドネシア・アチェ市との「多様な交流」活動は市民の心を豊かにし……とあるが、全く同感である。市民の理解と参画を高めていく取り組みについて伺う。</p> <p data-bbox="580 714 1426 801">(5) 「地域おこし協力隊」制度をどのように利用していくのか。</p> <p data-bbox="1046 965 1406 1003">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第2位</p> <p>復興クラブ</p> <p>代表</p> <p>上田</p> <p>勉</p>	<p>1. 所信に対する具体策を問う</p>	<p>市政執行について市長は5つの項目を挙げ所信の一端を述べたが、次の内容について、より具体的な方向性などについて伺う。</p> <p>(1) 「復興の具現化」と「新たな東松島市」の構築について</p> <p>生活環境の変化に伴うサポート体制の充実とあるが、基本となる実効性ある組織の完成と財源の確保の裏付けについて。</p> <p>(2) 地方財政を巡る動きと当初予算の編成について</p> <p>「復興の加速化」「人口減少」「少子高齢化」と行財政改革の推進は表裏一体とは考えにくい。他自治体からの支援を受けながら「自己力(地域力)」「独創性」「優先順位の明確化」などに加え、市民生活環境の安定、そして、あえて向上を唱えるには困難が待ち受ける。整合性を得るための指針を問う。</p> <p>(3) 平成28年度市政運営の基本方針について</p> <p>① 「市民協働」体制や地域の合意形成があり、高い評価を受け進められているとしているが、市民には、組織形成に関し重圧となっている地域が散見され、十分な説明と理解が得られているとは考えにくい。</p> <p>制度移行に向けての更なる施策について伺う。</p> <p>② 東松島市総合計画前期基本計画に基づく5つの重点施策について。</p> <p>ア 安全安心に暮らせる防災自立都市を目指すとあるが、防災の全般計画について吟味すると災害に対する処置・対応が不十分と思うがどうか。震災の経験が自信や油断となって対策がおろそかになってはい</p>

氏名	件名	要旨
<p>第2位</p> <p>復興クラブ</p> <p>代表</p> <p>上田勉</p>		<p>ないか。</p> <p>避難道路の整備・市民防災教育(特に情報共有要領)についての考え方を問う。</p> <p>イ 若者と子育て世帯に加え、シニア世帯の定住化施策の構想はできているか。</p> <p>ウ 健康寿命の延伸について ゆふとの積極的利用に加え、各市民センターを活用しての健康・体力の維持向上、そして、社会教育・生涯学習機会の拡充に伴う施策についての指針を伺う。</p> <p>エ 自治協働の推進について 地域自らが解決する仕組みづくりがいまだ不十分と思われる。各市民センターが各自治組織と連携が伴わなければ中間組織としての役割をなさないが、今後の方針について伺う。</p> <p>オ 産業振興の推進について 安定した企業の誘致と力強い地元企業の育成が重要である。特に、商工会、奥松島公社、NPO法人等の組織力向上について伺う。</p> <p>(4) 分野別施策について伺う。</p> <p>① 「保」について 戸建て住宅への太陽光発電導入助成等の継続の重点とその充実についての考え方を伺う。</p> <p>② 「備」について 消防団の再編の考え方。</p> <p>③ 「健」について ゆふと利用推進策と他施設の利活用、特に今後計画されるパークゴルフ場クラブハウスなどの整備の推進についての考え方を問う。</p> <p>④ 「伸」について</p>

氏名	件名	要 旨
<p data-bbox="177 315 279 353">第2位</p> <p data-bbox="209 427 247 689">復興クラブ</p> <p data-bbox="209 824 247 913">代表</p> <p data-bbox="209 1055 247 1093">上</p> <p data-bbox="209 1167 247 1205">田</p> <p data-bbox="209 1339 247 1377">勉</p>		<p data-bbox="644 315 1428 465">ア 保育所の入所待機児童ゼロを目指したマンパワーの確保と施設の拡充・充実および子育て世代の負担軽減策に向けての考えを伺う。</p> <p data-bbox="644 488 1428 689">イ 小中学生の教育について、きめ細かな実践的教育を実施するには、補助教員等の配置や地域の特性を生かした教育が重要である。また、教室等の増築、学区の見直しなどが必要となる。</p> <p data-bbox="676 712 1428 913">宮野森小、鳴瀬桜華小整備が注目を受けているが、矢本地区の学校施設や学区の見直しは、今後の課題となることは必至である。学力向上に資する施設整備の方向性について伺う。</p> <p data-bbox="612 936 906 974">⑤ 「修」について</p> <p data-bbox="644 996 1428 1146">自治協働の地域活動は、少子高齢化を見据えた対応が重要である。成果を重視しつつ必要な事業への予算配分と人員配置の構想について伺う。</p> <p data-bbox="612 1169 906 1207">⑥ 「住」について</p> <p data-bbox="644 1229 1428 1379">ア 移転に伴う生活環境の変化や住宅再建を進めた後のまちづくりの裏には、空き家対策が不可欠となる。対策について伺う。</p> <p data-bbox="644 1402 1428 1552">イ JRダイヤ改正に伴う利便性の確保では、東矢本駅への停車と仙石線の増便がある。そして、踏切幅の拡幅が必要である。方向性を問う。</p> <p data-bbox="644 1574 1428 1664">ウ 二次交通の充実は、移転後の状況調査を踏まえた運行計画が重要である。方向性を伺う。</p> <p data-bbox="612 1686 906 1724">⑦ 「働」について</p> <p data-bbox="644 1747 1428 1897">東松島市震災メモリアルパークについては施設の重複がないよう十分検討すべきと思う。旧野蒜小跡地利用も含め考え方を伺う。</p> <p data-bbox="612 1919 906 1957">⑧ 「信」について</p> <p data-bbox="644 1980 1428 2069">ア 被災者の自立対策と情報共有システム等の推進に当たっての重視すべき事項について伺う。</p>

氏 名	件 名	要 旨
<p data-bbox="177 315 276 349">第2位</p> <p data-bbox="209 427 244 685">復興 ク ラ ブ</p> <p data-bbox="209 824 244 913">代 表</p> <p data-bbox="209 1055 244 1200">上 田</p> <p data-bbox="209 1339 244 1373">勉</p>		<p data-bbox="639 315 1423 405">イ 基地との一体的復興の重要性について、市長の発信力は、功を奏しているか。</p> <p data-bbox="584 483 1415 573">(5) 東日本大震災からの復興と東松島市第2次総合計画の具現化については、所信の通りと考える。</p> <p data-bbox="639 595 1423 1032">新たなまちづくりが戦略的には「人育み 人輝く東松島」の表現には同意するが、認識している通り、いわゆる「街並みの変化」、「さらなる高齢化社会への加速」、「子育て支援の多様化」、「空き家対策を含めた定住化促進」などが予想される。さらに、被災者支援については、実施計画では「心の復興」に真摯に向かう必要がある。実施計画策定における指針について伺う。</p> <p data-bbox="1046 1223 1407 1256" style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

氏名	件名	要旨
<p>第3位</p> <p>清風</p> <p>代表</p> <p>五野</p> <p>井敏夫</p>	<p>1. 市政執行の所信について</p>	<p>東日本大震災から5年を迎えようとしている。平成28年2月定例会で市長は最優先で進めてきた住宅地造成工事、災害公営住宅の確保にも野蒜北部丘陵地を除き概ね完了できつつあると報告された。これまでの復旧事業については議会、市民とも成果を高く評価するものと推察する。</p> <p>市長は集団移転の完成はゴールではなく本格的な復興のスタートとも位置付けている。平成28年度から以後5カ年の32年までの「第2次総合計画」に基づき、本市の財産であり、理念でもある市民協働を基本に据え東松島市の輝きを高める市政を推進するとしている。「東松島市総合計画前期基本計画」に基づき、5つの重点施策で新たなスタートを切るといっている。以上5つの施策について、それぞれ伺う。</p> <p>(1) 安全安心に暮らせる防災自立都市づくりの推進について。</p> <p>① 復興の加速化をどう押し進めるのか。</p> <p>② 将来にわたって安全な防災減災型のまちづくりをどう進めるのか。</p> <p>(2) 若い世代の定住促進について。</p> <p>① 子育てしやすく若者と子育て世帯の定住促進をとあるがどう押し進めるのか。</p> <p>② 雇用対策充実はいかに。</p> <p>(3) 健康寿命の延伸について。</p> <p>① 高齢者の健康管理、体力維持等については、全市的にどのような方策で取り組むのか。</p> <p>(4) 自治協働の推進について。</p> <p>① 平成29年度より全市で取り組もうとしている地域自治会制度に向けた啓発等については十分対応できるのか。</p>

氏名	件名	要旨
<p>第3位</p> <p>清風</p> <p>代表</p> <p>五野</p> <p>井敏夫</p>		<p>(5) 産業振興の推進。</p> <p>① 産業振興は雇用の創出と密接に連携する分野であるが、どう対処するか。</p> <p>② この事業は人口減少、地域活性化策とも関連があるが、市長はどう捉えるか。</p> <p>③ 「東松島市版総合戦略～東松島ニコニコ大作戦～」と同時期になるとあるが、対応十分か。</p> <p style="text-align: right;">【答弁を求める者 市長】</p>

